

設立趣旨

今日のアマチュア野球界においては、少子化時代にもかかわらず高校球児の数は年々増加し、2007年には過去最高となる約16万8千人に達するなど、野球に対する青少年のニーズはますます高まりを見せています。

しかしながら、アマチュア野球界の発展を支え続けてきた社会人野球においてはその代名詞でもある都市対抗野球を通じて、地域の振興にも大きな貢献を果たしてきたところではありますが昨今の経済環境の悪化に起因する企業チームの休廃部により、日本野球連盟に登録されている企業チームはピーク時の237チーム（1963年）から85チーム（2007年）へと激変しています。

和歌山県内においては、1999年に住友金属硬式野球部が廃部になり企業チームが皆無になっています。

このことは、幼い頃から野球に親しみ、野球に夢を託し、野球を通じて心身を健全に成長させてきた青少年たちが、社会人となって野球を続けたくても続けることができない状況をつくりだすこととなりかねません。

また、この状況はアマチュア野球界だけではなく、わが国のスポーツ振興の観点からも危惧すべき状況であり、アマチュア野球が将来にわたり持続的な普及発展を遂げていくためには、野球に生き甲斐を求める青少年たちが、社会人となってからも継続してプレーできる環境を提供し、支援を行うことが非常に重要であります。

和歌山箕島球友会は、野球を通じて心身を鍛練し成長させてきた青少年たちが、社会人となってからも継続して野球に取り組める環境を提供するとともに、野球競技者の技術の向上や親睦交流に関する活動など、アマチュア野球の普及発展に貢献する活動を積極的に展開しスポーツ振興をはじめ、野球を通じて青少年の心身の健全育成をはかることを目的としています。

また、これらの活動を行なう主体としての活動基盤を確立するために、特定非営利活動促進法に基づく法人格を有する特定非営利活動法人として設立するものであります。